

令和3年度 北海道八雲高等学校 学校関係者評価書

- 1 経営方針
- (1)教育の質向上を確保し、生徒が安全で安心して学べる教育環境を形成する。
- (2)保護者、地域と連携し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育を展開する。
- (3)全教職員の緊密な連携の基、個々の強みを生かした魅力あふれる学校づくりを目指す。
- (4)客観的な学校評価により学校課題を明確化し、絶えず解決のための方策を検証・協議し具体的な改善策を速やかに実施する。
- 2 本年度の重点目標
- (1)生命尊重や人権擁護の精神の基、生徒の心の琴線に触れる教育を推進する学校
- (2)生徒一人ひとりの学力向上を目指し、主体的でより高い資質・能力を育成する学校
- (3)生徒や保護者の負託に応え、個々が希望する進路の実現が果たせる学校
- (4)保護者や地域から信頼され、生徒にとって魅力ある居心地のよい学校
- (5)職員が協働意識を持って仕事に取り組み、お互いの強みを生かし合う風通しの良い学校
- 3 評価基準
- ・評価は4段階。(4 大変良くできている 3 概ね良くできている 2 あまりできていない 1 できていない)
- 4 自己評価の結果(※網掛けの部分は3. 0を下回った項目)

分野	番号	評価項目	主な取り組み	自己評価	実践事項および改善策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
総務	1	教育活動や校務運営の円滑化・効率化を図る。	(1)各種式典・行事の内容検討と見直し (2)避難訓練をより実践的なものへ変更（一日防災学校の実施） (3)校務運営の効率化 (4)各種奨学金の事務および指導	3.2 (3.2)	(2)津波を想定した避難・煙体験・簡易避難所設営等充実した訓練ができた。 (4)計画通り実施できた。	B	B
	2	各種ファイルの収集管理及び整備と活用を図る。	(1)事務的業務の効率化 (2)書類の整理(小路情報収集のルール化と管理の徹底	3.1 (3.2)	(1)来年度より保護者への連絡メール機能を一新し、保護者連絡方法の効率化を図る (2)書類の整備については継続中。	B	B
	3	関係諸団体との連携を密にし、協力体制の確立に努める。	(1)父母と教師の会との協力体制を図る (2)PTAだよりの発行	3.3 (3.4)	・今年度もコロナの影響で父母と教師の会の活動が計画通りに実施できなかった。コロナがしっかり終息するまでは、スタンダードとするもやむなし。	A	B
	4	外部への積極的な広報活動を推進する。	(1)八雲高校通信の発行 (2)ホームページの簡便性とタイムリーな更新	3.3 (3.5)	・通信は毎月発行、ホームページも行事がある毎に更新してきた。担当者が負担とならないよう業務を分担したい。 ・PTA活動が不十分である代わりにホームページによる情報の発信はこまめに行っていく。	A	A

●総務部に関わるご意見等をお願いします。
・令和5年度は創立100周年、伝統を大切にしながら、挑戦し続ける八雲高校であってほしい。

教務	5	基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、意欲的に知識・技能を活用する学習活動の工夫・改善を図る	(1)生徒の学力の実態把握 (2)学ぶ態度の育成 (3)授業研究の推進と充実 (4)教科・学年・分掌との連携 (5)シラバスの内容の充実と改善	3.0 (3.1)	(3)授業研究に関して、公開授業等を今年は実施できなかったが、日々の授業実践について気軽に話せる場面を用意していきたい。 (4)教科・学年・分掌との連携で時間割作成がスムーズにできた。	B	B
	6	現状分析と学習環境の整備を図るとともに、個々の生徒に対応しうる授業力の向上を図る	(1)入学者選抜学力検査や入学後の学力・学習状況の分析 (2)各種調査や生徒による授業評価の有効活用 (3)校内研修の充実(3観点別評価の理解と授業改善)	3.2 (3.1)	(1)朝学習による基礎力向上 (2)公開授業週間の実施。(研鑽を深める) (3)3観点評価が授業改善に繋がっているかの検証を校内研修で行う。(授業方法がどのようにか変わったか)	B	B
	7	家庭学習の定着を一層推進するとともに、家庭学習の取組が評価に反映されるような、評価方法や指導方法の改善を図る	(1)家庭学習習慣化指導の充実。 (2)評価規準、評価方法の工夫改善(3観点別評価方法の段階的構築)	2.9 (3.0)	(1)教科によって課題を出す・出さないがあり、習慣化は進んでいない。共通理解が必要である。 (2)評価に関する研修の実施等の実施を検討。	B	B
	8	焦点化した生徒の課題の解決に向けた教育課程の円滑な運用を図る	(1)新教育課程編成(学校教育目標と地域や生徒の期待の調和を図る)	3.1 (3.1)	(1)「総合的探求の時間」の学習内容の改善が急務である。令和5年度入学生の教育課程編成実施。	B	B
	9	図書、視聴覚機器の充実を図り、教育環境づくりに努める	(1)閲覧室、司書室の整備と図書資料の整備・精選 (2)図書委員会の活性化 (3)・各教科、生徒への購入図書希望調査 (4)視聴覚機材の整備、充実 (5)学校行事の記録(写真、ビデオ)と管理	3.3 (3.1)	視聴覚機器については、以前に比べ整備が進んだ。担当教員・事務担当に感謝する。	B	B

●教務に関わるご意見等をお願いします
・国公立大学への進学者数は、数名いるものの、この地域の生徒は同じ学校内で学力差が大きい。ランクの高い生徒も入学してくるなかで、高い目標を掲げて入学してくる生徒に対応できる教育課程の編成をお願いしたい。

※裏面の各項目にも評価をお願いします。

分野	番号	評価項目	主な取り組み	自己評価	実践事項および改善策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒指導	10	基本的な生活習慣の確立を図る	(1)遅刻防止指導の重点化 (2)身だしなみ指導の定期実施	3.2 (3.3)	(1)登校指導等の効果もあり、遅刻者の数は大幅に減少した。 (2)身だしなみ指導について共通理解を図り、学年による指導の差が無いようする。	B	B
	11	地域、家庭、関係機関等との連携を強化し、調和のとれた個性の伸長を図る	(1)巡回指導の実施	3.1 (3.3)	生徒の動向を知るうえで、巡回指導は必要だが、働き方改革の観点からは、地域の防犯協会にも協力をお願いする。	B	B
	12	生徒会活動の充実を図る	(1)生徒主体の生徒会行事の展開 (2)各種委員会の活性化 (3)部活動の活性化	3.4 (3.3)	(1)生徒の主体性を一層引き出す。 (3)学校規模や生徒数のバランスを見ながら、部活動数の精選も検討する	B	B
	13	学校保健活動、教育相談、性に関する健康教育指導の充実を図る	(1)教育相談体制の充実 (2)性教育講話の実施	3.4 (3.5)	(1)多様化している生徒の実態に合わせた教育相談体制が構築されている。 (2)生徒の実態に合わせた形式での実施ができた。	A	A
	14	環境整備の推進を図る	(1)ごみ分別の徹底 (2)定期的な校舎外清掃の実施	3.2 (3.3)	(1)ごみ回収の際に分別の有無を確認、指導している。今後も継続指導。 (2)引き続き実施予定。	B	A
	15	情報モラル、交通安全、薬物乱用防止等の指導の推進を図る	(1)各種講話の実施	3.4 (3.4)	(1)特にSNSの講話は、「いじめ」や「友人関係のトラブル」に関する内容で良。来年度はもう少し深く生徒に響く講話を実施する。	A	A
16	特別支援教育の充実を図る	(1)定期的な支援委員会の実施 (2)特別支援教育の認定、実践	3.4 (3.5)	(1)定期的に特別支援委員会を開催し、対象生徒の情報を共有することができた。 また、パートナーティーチャーの派遣で、より専門的な指導を行うこともできている。	B	A	
●生徒指導に関わるご意見等をお願いします ・ピア・サポートは八雲高校の大きな魅力です。今後も町内の中学校と継続的な研修を行ってください。生徒同士の受容的・共感的態度の育成や居場所づくりは、同じような悩みを持つ生徒同士の対話をもつ時間作りは、学校に対する安心感・人間関係に対する安心感づくりにも良い影響が出ると思われます。							
進路指導	17	生徒一人一人の能力、適性に応じた進路目標の設定への援助とその実現を図る	(1)個別面談の実施 (2)進路ガイダンス・進学相談会・講演会の充実 (3)段階的進路指導の明確化	3.4 (3.4)	(1)(3)現3年生から大学入学共通テストに変更となり、また、推薦入試についても総合型選抜、学校推薦型選抜と名称が変わり、選抜方法が多様化している。そのため、個別面談等の充実を図ると同時に、新しい動向の情報提供等を充実させていきたい。 ・進路室全体の資料整理等を行い、日々送られてくる各種資料を整理した。	B	A
	18	進路指導資料の収集・分かりやすい提示・効果的運用を図る	(1)データの分析と有効活用 (2)大学乳性制度改革の情報収集と対応	3.3 (3.5)	外部企業（ベネッセやリクルート等）との情報交換を密にし、新しい情報の収集に努め、適正な情報提供を生徒及び保護者にできるようにする。	B	A
	19	職業観や社会性の育成を図る	(1)職種理解・職業理解の促進に努める。 (2)インターシップの充実 (3)礼儀・マナー、服装指導等について、進路指導部の立場からも関わっていく。	3.2 (3.3)	(1)身近な仕事を題材として、職業理解に繋げる活動ができた。また、地元の産業について外部講師を招いての講演を実施した。 (2)今年度は実施できなかったが代わりに「ワークショップ型インターンシップ」や「地域文化体験ワークショップ」等を行った。	A	A
	20	講習体制の効果的運用を図る	(1)進路希望に合わせた指導の充実 (2)より効果的な実施を目指した講習体制の見直しと模試の積極的受験に向けた指導	3.2 (3.2)	(1)(2)新しい大学入試や多様化する進路希望に合わせた指導体制を今後も検討していきたい。	B	B
●進路指導、教育動向に関わるご意見等をお願いします 生徒の進路多様化は逃れられないが、地域に根付き、地域の人材を育てる学校として、企業への人材輩出も引き続きお願いしたい。							
●その他、全体を通してのご意見等をお願いします							